



リバー産業に知事感謝状

御堂筋イルミネーション寄付で



松井知事(左)から感謝状を受け取ったリバー産業の河社長(中央)＝府庁

不動産開発・販売を手がける「リバー産業」(河啓一社長)が、「御堂筋イルミネーション事業」の支援として1千万円を寄付したことに對して、松井一朗知事が15日、府庁で河社長に

感謝状を贈った。

この事業は、府、市、経済団体などが大阪の活性化を図る「大阪・光の饗宴」の一環で平成21年から開催されている。9回目となる昨年は御堂筋の南北約4キ

が約130万個の発光タイオードで飾られた。

感謝状を渡した松井知事は「この事業を海外からの客を呼び込むツールとして、さらに成長させていきたい」と述べた。河氏は「魅力ある大阪への一助になれば」と話していた。

リバー産業は府内を中心に、目に入る実際の緑の量「緑視率」にこだわる環境に配慮した分譲マンションなどを展開。その一方で「御堂筋イルミネーション事業」のほかに「大阪国際がんセンター事業」にも寄付を行っており、2事業で計2千万円になる。